

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年01月26日

計画の名称	市街地住環境の再生													
計画の期間	令和06年度 ～ 令和10年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	静岡市													
計画の目標	再開発事業による都市機能の更新、地区の特性に応じた機能の整備を行うことにより、都市機能更新や商業機能の強化を推進し、安全で快適な魅力ある住環境の形成を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		6,368	A	6,368	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R6当初）		（R12末）
1	静岡地区の中心市街地における歩行者通行量（休日）をR12年度331,530人／日を目指す。 静岡地区中心市街地における歩行者通行量（休日）を測定する。 歩行者通行量：中心市街地における日曜10時～17時の歩行者通行量の対象地点の合計値（静岡地域中心市街地通行量調査から引用）			
		329881人／日	人／日	402000人／日
2	静岡の中心市街地に賑わいや魅力を感じる市民の割合をR12年度50.0%を目指す。 静岡の中心市街地に賑わいや魅力を感じる市民の割合を調査する。 静岡の中心市街地に賑わいや魅力を感じる市民の割合：静岡市在住の18歳以上の個人（無作為抽出）によるアンケート回答（静岡市市民意識調査から引用）			
		30%	%	50%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
継続事業であり、R12年度に事業完了予定。														

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	静岡市	間接	再開発組合	－	－	紺屋町・御幸町地区第一 種市街地再開発事業	商業・事務所・住宅等（施行 区域：約0.8ha）	静岡市	■	■	■	■	■	6,368	1.16	－	
											小計							6,368		
											合計							6,368		

事前評価チェックシート

計画の名称： 市街地住環境の再生

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画と目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組み内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○

